

授業科目 助産学実習 III

【担当教員名】 下山 博子、塚本 康子、中山 和美、 山口 典子、浅島 宏美 他		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）
		開講時期	前期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	◎
【概要】 ハイリスク新生児とその家族に対する助産活動について学ぶ。					
【学習目標】 1. ハイリスク児の病態生理ならびに治療の実際について理解する。 2. ハイリスク児に対する看護実践を見学し、必要な看護について考察する。 3. ハイリスク児の家族とかわり、看護のあり方について考察する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1～	ハイリスク児の看護	1、2、3	NICUやGCUにおいて、ハイリスク児の看護を見学実習する、担当：下山 博子 他		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア	遠藤俊子	日本看護協会出版会	2013・4,500円
参考書		助産学講座8 助産診断・技術学II [3] 新生児期・乳幼児期	横尾京子	医学書院	2013・3,400円＋税
その他の資料		助産学実習要項			
【評価方法】 事前学習レポート 20%程度 実習レポート 60%程度 実習内容、態度、カンファレンスでの発言 20%程度			【履修上の留意点】 実習内容の詳細については、実習オリエンテーションで確認すること		